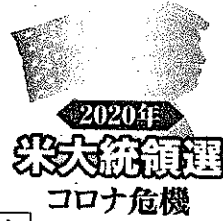


# 保険入っても検査30万円

Amount	\$0.00
Area title	\$0.00
Insurance	\$2,877.39
Covered	\$0.00
Covered	\$0.00
<b>Covered</b>	<b>\$2,877.39</b>

## 「破産原因6割が医療費」データも



7面から続く

米国では、医療費全体の増大とともに被保険者の負担額も右肩上がりが増えていく。このため、受診をためらったり高額負担の憂き目に遭ったりするのは、無保険者に限らない。自己破産原因の六割を医療費が占

めるなどの調査結果もある。東部バーモント州の大学で情報工学を教えるアンドリュー・センシニさん(49)は、勤務先の医療保険で年五千ドル(五十三万円)の掛け金を支払い、医療費も年五千ドルまでは自己負担だ。三月上旬、患苦しさを覚えて受診し、隔離室に回された。検査で新型コロナウイルスは陰性だったが、「救命救急室料」などの名目で二千八百ドル(三十万円)の負担を求められた。「これが米国の医療。保険に入れる自



①センシニさんが病院から受け取った診療明細の写し  
②2月、米東部ニューハンプシャー州で演説するサンダース米上院議員

分はまだ恵まれている」。いまの心配は経済状態の悪化で失業し、無保険になることだという。

米セントルイス連銀は四月六月期の国内失業率が30%を超える可能性を指摘。国民の大半が勤務先を通して保険に入っている以上、失業率が上がれば無保険者の数も増えかねない。

センシニさんが支持するのは、政府の一元運営による国民皆保険制度。十一月の大統領選に向けた野党民主党の候補指名争いから四月に撤退した左派のサンダース上院議員(全米)が、医療は一部の「特権」でなく全国民の「人権」と訴える看板政策だ。人工呼吸器の装着をためらう患者を目的の当たりにしたニューヨークの麻酔看護師デリック・スミスさん(33)も賛同する。

米調査会社モーニング・コンサルティングなどの三月下旬の世論調査では、政府の一元管理による国民皆保険は賛成55%、反対35%。その差は、米国で新型コロナウイルスが深刻化していなかった一カ月前から9%広がった。

民主党の候補指名が確実な中道派のバイデン前副大統領(78)は、十年で三十兆ドル(三千二百兆円)ともいわれる財政負担を理由に反対する一方、高齢者向け公的保険の対象を現在の六十五歳以上から六十歳以上に広げる考えを四月に表明。党内結束のため、サンダース氏支持者らに歩み寄りを見せ始めている。

一方、再選を狙う共和党のトランプ大統領(76)は、新型コロナウイルス関連で検査の無償化を打ち出した後、無保険者の治療費も政府が負担すると表明。ただ、適用条件や新型コロナウイルス関連の線引きが判然とせず、センシニさんのように「想定外」の高額請求を受ける可能性は払拭されないままだ。

トランプ氏は国民皆保険を「納税者負担で不法移民に医療を無償提供し、国を破綻させる」と移民問題と重ね合わせて批判し、民主党を「社会主義」と攻撃する。

スミスさんは医療費問題に「完璧な解決策はない」と認めつつ、願う。「せめてお金の不安なく救命措置を受けられるように」と。(ニューヨーク・赤川肇、写真も)